部門	受賞者	評価のポイント
男女が共に活躍できる社会づくり部門	株式会社 池間組 （企業、北九州市若松区）	・港湾土木工事を中心とした建設業界において、トイレのセキュリティ強化や、女性専用休憩室を設けるなど、女性を含む多様な人材が能力を発揮できる職場づくりに取り組んでいる。 ・管理部門にて、女性管理職が責任のある立場で業務に従事していることに加え、現場においても女性社員が施工管理業務で活躍している。 ・また、男性社員の育児休業取得に力を入れており、入社前・入社後の制度説明に加え、出産予定がある社員に対して会社から改めて制度説明を行い、会社および現場責任者が取得を後押しし、取得しやすい職場環境づくりを継続している。
	福岡県立八幡高等学校 「夢現∞プロジェクトB3-1班 （愛称：インフィニティ班）」 （団体、北九州市八幡東区）	・海外の行政官や多様な大人たちを巻き込みながら、世代や性別を超えて気軽に多様な考え方を共有できるカードゲーム「Even Up∞カード」を独自に開発。 ・次世代の社会課題解決アイデアを競う「SDGs QUESTみらい甲子園」九州北部エリア大会において、最優秀賞を受賞。 ・開発した「Even Up∞カード」は、地域の男女共同参画センターへ寄贈され、今後は、市民への一般貸し出し等を通じて、ジェンダー平等意識の醸成や次世代への啓発に貢献することが期待される。
困難な問題を抱える女性への支援部門	盗撮をさせない 社会づくり推進機構 （盗撮防犯Wc） （団体、北九州市小倉北区）	・北九州市を拠点に盗撮犯罪の撲滅に尽力し、「女性に対するあらゆる暴力の根絶」を目指して活動中。 ・教職員を対象とした体験型研修会などの啓発活動や、全国延べ3,000カ所以上に及ぶ盗撮カメラの検査パトロール等の取り組みを実施し、県民の防犯意識の向上に大きく貢献。 ・自治体、教育機関、鉄道事業者、商業施設等の多様な主体を巻き込み、「盗撮をさせない社会づくり」の構築を推進し、女性の安全な社会参画を支え、男女共同参画社会の実現に多大な貢献をしている。
	西原眞理子（にしはら まりこ） （個人、飯塚市）	・長年にわたり行政相談委員として、地域住民の身近な相談窓口を誠実に務め、行政と市民の信頼の架け橋として多大なる貢献を果たしてきた。 ・特に、家庭内の問題や職場でのハラスメントなど、男性には相談しづらい悩みを抱える相談者にとっては、女性委員が窓口に立つことで安心して悩みを打ち明けられる環境が整い、制度の利用促進にもつながっている。 ・さらに、行政相談委員の「男女共同参画担当委員」として県男女共同参画センターの月1回の専門相談に当たり、困難な課題に対しても相談者に寄り添った的確な助言を行い、相談対応の質の向上に大きく貢献している。
女性の先駆的活動部門	野中真琴（のなか まこと） （個人、北九州市八幡西区）	・電気工事業界において、代表取締役を務めるとともに、福岡県電気工事業工業組合の女性部会長として、自社及び業界の変革に取り組んでいる。 ・代表就任後、従来の男性社会で見過ごされがちだったマナーの改善に取り組み、女性や若者に選ばれる職場環境を整備。 ・時間外労働を削減するとともに、男性社員の育児休暇取得を推進しており、「なぜ男が育児をしなければいけないのか」と取得に反対するベテラン職人を説得し、社内初の男性育休を実現させた。
	松田理恵（まつだ りえ） （個人、福岡市西区）	・株式会社タカギでボトムアップ型の「ダイバーシティ推進プロジェクト」を立ち上げ、男性育休取得率向上のため、「育トレ制度」（育児目的の休みを最大20日間有給休暇とする制度）を導入。 ・男性育休取得率を2019年 0%から2023年 100%とした。 ・地方の、製造業という男性中心の業界において、男性を育児の当事者にし、女性が対等にキャリアを描ける環境づくりを行う等、本質的な企業の体質改善と社会課題の解決に向けて挑戦している。